



# 学校だより8月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和2年 7月 31日  
横浜市立日限山小学校  
〒233-0015

港南区日限山二丁目 16 番 1

TEL 045(841)6561

## 一緒に見つめて気持ちもひとつに

副校長 登坂 峰行

6月のある朝、職員室前の池で黄緑色に光るトンボを見かけました。ギンヤンマです。私が小さい頃には父と一緒に虫かごいっぱい捕まえたことがあります。近年は見る機会が減りましたが、たまに飛ぶ姿を見かけると、美しさに目を奪われます。静けさが支配する朝の学校で水草に掴まり、卵を茎に産み付けていました。シオカラトンボは飛びながら水面に卵を産みますが、ギンヤンマはものに掴まって産みます。掴まる位置を少しずつ変えながら産む姿を一人でじっと眺めていました。

以前読んだ文章に、同じものを一緒に見て会話をしたり同じことをして気持ちが動いたりすることはとても大切である、と書かれていました。

「お月さんまんまるだね。」

「わあ、おつきさんまんまる。」

月と一緒に見て会話する場面などは生活の中ではありふれています。しかし、なにげない日常の一場面から情緒が育ち、心のつながりが生まれます。3人、4人と人数が増えても一緒にものを見たり、一緒に遊んだりする行為は気持ちのつながりを強くするそうです。家族で同じテレビを見る、友だちとトランプなどをして遊ぶ、そしてみんなで笑ったり驚いたりする、このように場面を共有し気持ちも共有する、このことが仲間作りにもとても大切だということです。

本校では令和2年度の学校経営方針として「子どもたちに魅力ある学校 保護者・地域から信頼される学校」を目指し、4点の具体的な姿を示しました。その中の一つに「自分の良さに気づき、相手の気持ちを大切にしながらともに生きる力を育む学校」があり、学校生活全体を通して自分の良さに気づいたり相手の気持ちを考えたりする心情を育てていきたいと考えます。たてわり活動や特別活動、行事、各教科の学習場面などの目標を達成しながら意図的・計画的に場面を設定し、気持ちのつながりや豊かな人間関係をつくっていきます。残り3点の具体的な姿等、令和2年度の学校経営方針の詳細については先日本配りいたしました「学校説明会資料」に記載されていますのでご覧いただければ幸いです。

登下校の途中や休み時間など職員室前の池を見ている児童が多くいます。池にはメダカや小さなエビ、なかなか見つけられませんが、ドジョウも数匹います。先日、水生植物のコウホネやガマノホを池に入れました。ガマノホは株の状態ですのでこれから茎が伸び、やがて茶色の穂が見られると思います。

明日からは夏休みですが、体調に気をつけて元気に過ごしてほしいと願っています。引き続き本校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。